第3回 県アームレスリング選手権大会

やりました！ 藤島さん（マスターズ） 坊良さん（ヘビー級） 優勝杯！

「腕自慢」を競う県アームレスリング（腕相撲）選手権大会（県アームレスリング主催）が十月十一日、盛岡市の三本柳ふれあいランドで開かれ、村から参加した緑区の坊良清孝さん（三一）と同地区の藤島治さん（四九）がそれぞれの階級で優勝という快挙を成し遂げました。

第三回目の今大会には、百五人が参加。体重別で競う同競技では坊良さんがライトハンドヘビー級（体重八十キロ以上）とレフトハンドヘビー級に、藤島さんがレフトハンドヘビー級（体重八十キロ以上）とマスターズの部（四十歳以上、無差別級）に、沢口徳明さん（四九・旭日区）がレフトハンドライト級とマスターズの部に出場しました。その結果、坊良さんがライトハンドヘビー級で優勝、レフトハンドヘビー級で準優勝、藤島さんも、マスターズの部で優勝、レフトハンドヘビー級で第三位、沢口さんがレフトハンドライト級で第二位、団体戦でも、（中上一登さん〈四四・堀内〉、坊良さん、藤島さんの三人でチーム編成）第三位と大健闘の輝かしい勝利を収めました。

藤島さんは、「ウエイト、トレーニングは老化を防ぎ若さと健康を保つ最高のものです。ぜひ皆さんにも挑戦していただきたい」と語り、今大会の大勝利を、「常に監督の金子行男さん（旭日区）を先頭に五人でチームを組織、活動しています。金子監督がいればこそ安心して大会に臨むことができ、力を発揮することにもつながっていきます。今後の目標は研究とトレーニングを重ね、県大会で全種目に優勝すること。そこから次の段階が始まります」と仲間あってこその勝利と笑顔を向けながらきっぱりと結んでくれました。

メンバー全員、それぞれの階級で自慢の勝利です

白熱！ 第3回普代村アームレスリング大会

九月三十日、第三回「弁慶の力持ち」アームレスリング大会（村アームレスリング協会主催）は村内外から男女三十九チーム（男子二十六チーム、女子十三チーム）が出場し、駅前特設会場で行われました。

今年は、レフトハンド、ライトハンド（女子の部）の全日本チャンピオンの須川ひとみさん（久慈市）が男子の部で団体戦に出場するとあって会場には熱気が漂っていました。

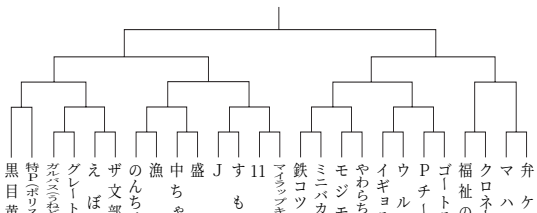
大会は、三人一組で二勝したチームの勝ち。日頃鍛えた腕をこの時とばかりフル稼働させる男子に、女子チームも気迫では負けていません。会場は熱気に包まれていました。

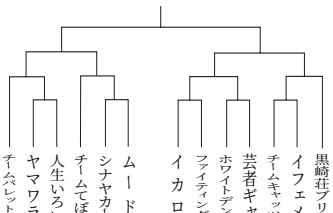
激戦を制したのは、男子の部は、すもうチーム、女子の部は、ムードンチームでした。

また今年の大会から新しく設けられた個人戦。強いのなんのって、団体戦で力をふり絞ったと思われた千葉英美さん（宮古市）が男子の部で優勝。女子の部は、同じく団体戦を闘った芦渡千佳（堀内）さんが見事優勝、大喜びの一万円を手に、顔は喜びでいっぱいでした。

男子の部

優勝 すもう



女子の部

優勝 ムードン